女性の顔

自動的に生成された説明杉木ゼミ

2. 杉木教授より

「なぜ、アフリカなのですか？」

　この質問は、アフリカを学ぶ人がしばしば聞かれる質問の一つでしょう。おそらく、多くの人にとって、アフリカは地理的にも心理的にも遠い地域かもしれません。あるいは貧困、民族紛争、難民問題など苦難に直面している地域と捉えられているかもしれません。

しかし、あえていうならば、アフリカを学ぶことには様々なメリットがあると思います。第1に、アフリカを学ぶことで、新たな知識や知見を取得することができます。多くの人が抱きがちなネガティブなイメージはアフリカ諸国の持つ多様な側面の一面にすぎません。例えば、近年、スポーツ（特にサッカーや陸上）、音楽、ファッションなどの分野ではアフリカ出身者のめざましい活躍がみられています。また、紛争解決のために、伝統的な紛争解決のメカニズムを活用し、紛争当事者の和解を促し、地域の平和的な共存を図る平和構築の取り組みや、創意・工夫によって新たな難民支援プログラムを打ち出すなど、アフリカならでは英知や創造性を活かした解決策や対策が行われた先駆的な事例もあります。第２に、アフリカを学ぶことから定説となっている価値観や「事実」をとらえ直し、日本や世界のあり方、自分自身の考えを再検討することができるのではないかと思います。第３に、他の地域と比べ、アフリカは「マイナー」な地域であり、研究者もあまり多くないのですが、それだからこそ所属や専門分野を横断した学際的ネットワーク、連帯意識、協力関係が強いと思います。本研究会ではこれらのネットワークを活かして、他大学や研究機関でアフリカを学ぶ学生、研究者との合同ゼミや研究会を行い、相互交流を進めております。

本研究会は、アフリカの多様性をふまえた上で、アフリカの現状を政治学、国際政治学のアプローチを用いて分析し、今後の課題を考察することを目的としています。具体的にはアフリカ諸国にとって主要な問題である、民主化・政治体制の移行、貧困削減・開発援助、民族紛争・内戦・「テロ」、平和構築、難民・強制移動民問題、国際犯罪（特に海賊・海上武装強盗、密漁、武器密輸、人身売買など）を中心として扱う予定です。本研究会は、①何よりもアフリカに関心がある人、②様々な事例をミクロ、マクロレベルで理論的に考察することに関心がある人、③未知なことにチャレンジしながら学ぶ意欲と積極性のある人を歓迎します。

3.研究対象

サヘル砂漠以南の政治、経済、社会問題、平和構築

4. ゼミ生の構成

3年生16名（内2人留学中）、4年生16名です。

5. 他学部生の受け入れ

　受入れが可能です。但し、希望者が多い場合は政治学科の学生を優先します。なお兼ゼミ（複数のゼミに所属する予定）の場合は、事前にメール等でご相談ください。

6. 秋学期に留学から帰ってくる学部生の扱い

　個々の単位取得状況、進級予定、留学期間によって対応が違いますので、事前にご相談ください。例えば、3年の秋学期から1年間留学し、（a）進級しない場合は、3年生してゼミを継続することになります。(b)4年生に進級し、秋学期より再びゼミに参加する場合は、卒論を執筆することになります。

7. ゼミ生からのコメント

　幅広く丁寧に教えていただけるので、初めてアフリカに触れる方でも考えを深めることができます。アフリカや平和構築、難民などのテーマに興味のある方のご応募をお待ちしています！

8. ゼミの進め方

＊本ゼミ（火曜3限：3年生のみ、4限：３・4年生合同）

3年次の春学期はアフリカ史、アフリカ諸国に関する基礎的文献を精読しながら、ディスカッションを中心に進めていきます。3年次の秋学期はアフリカにおける重要な諸問題をテーマ別に取り上げ、これらの問題の理論的分析、現状分析を行います。

4年生では各自が選んだテーマに沿って卒論を作成することを目標として、卒論の中間報告や質疑応答を行います。

＊サブゼミ（火曜５時限）

主にアフリカ政治に関する文献や資料を輪読します。他大学との合同ゼミの準備等も行います。

9. 主な使用文献

ゼミで使用する文献に関してはテーマに応じて指定します。下記に記した入門書を事前に読んでおくことを推奨します。

・宮本正興・松田素二『新書アフリカ史』講談社

・白戸圭一『日本人のためのアフリカ入門』ちくま新書

・松田素二編『アフリカ社会を学ぶ人のために』世界思想社

・島田周平『物語　ナイジェリアの歴史』中公新書

・落合雄彦編著『アフリカ安全保障論入門』晃洋書房

10. ホームページアドレス

<https://keiolaw.org/seminar/sugiki_akiko>

11. 連絡先

　mail: [sugikiseminar@gmail.com](mailto:sugikiseminar@gmail.com),(r-michichichichi@keio.jp)

Twitter: @AFRseminar2018 / @sugikisemikeio

Instagram: @sugikisemikeio